神社鎮座関係と安土山

100020  ACCURATE RELATION BETWEEN SHRINE POSITION RELATIONS AND MT. AZUCHI

川本 博之
KAWAMOTO Hiroyuki

キーワード： 神社鎮座関係、 安土城、 安土山、 金剛山、 光川東照宮

Key words: Shrine position relations, Azuchi Castle, Mt. Azuchi, Mt. Kongo, Nikko Toshogu

1. はじめに
（神社鎮座関係の研究経過）

33年前、沖ノ鳥島等の位置を詳細に調査し、同緯度に大三島もある不思議から全国函館の全神社、式内社を含む全国千社の位置関係を検証し、国土地理院の世界地図上を結ぶノ一社（有ゆき西八幡社、高社格社）350社、重版神社、歴史事象等の研究に変えて数千もの有線関係を改めて見出す。田舎道の重版と重要仏堂等と一体が木造部の関係で、古代国家が構築した記念物の『神道』と典雅式の神社の異なる関係を実施する明確な位置性と構成関係を計画配置の位置付けを示している。

基点第一が富士山、大山、八剣山、神ノ鳥、宮之浦岳、根木や附宮の廃地及の伊勢神宮富宮に対しての名社の絵図関係があり、飛騨は伊勢神宮と伊勢範神宮の同緯度実在、他の五社を含み富士山と出雲や熊野の三角構成関係中の帝王の中心的役割性にある。出雲と筑紫と熊野等の各三角構成の通路が伊勢と対峙する出雲である。

自然への古代祭祀から発祥歴史倉したとする神社の鏡の通路、宗教、歴史、国家観と文化技術史を歴史文化を認識し神社鎮座関係を発表しているが当日建築学会は「古代にありえない」と実在を検証せず印象的評定をしている。

2. 研究目的と方法と関係精度

文字史料は別記による概念や著作がないこと重要である。文献史学的方法に確証は無い。史料批判外の安土山に関しての実在の歴史事象関係と関係性の指摘は、特記に加え現実の歴史事象を検証する。神社の関係を地図より距離を基に、原則1秒クラス5.5秒以内に採用しCAD上の基準地図に関与し、方位変数補正地図を基準地図で検証する。

3. 安土山の位置

安土山と大山の間で白山と金剛山の方位上に安土山は、伊吹山の方位先に剣山、剣山と剣山の方位先に愛宕山、愛宕山と同線度に大山、大山と名ノ山の方位上に安土山がある。安土山以外は全て有名山である。

① 石見ー宮地神社とスサノオ伝説の船通山と同線度
物部神社と同線度に総見寺、船通山と同線度に安土城天台がある。物部神社本殿は宇佐神宮本殿と出雲大社本殿の方位上で、出雲大社八雲山と熊野本宮大社大宮原の方位上に船通山がある。宇佐神宮と住吉大社。鹿島神宮の方位上に平城宮がある。出雲大社、物部神社、宇佐神宮

宇佐神宮ー岡山ー住吉大社ー平城宮ー大極殿ー鹿島神宮

出雲大社ー常陸祇神社ー伊勢神宮ー鹿島神宮

(六社は国一宮)

② 日本三霊山と宇佐神宮、平城宮、安土山の二宮

安土山は富士山、白山、立山の三霊山と関係がある。

安土山ー小御岳神社ー大山（阿弥陀）

立山ー安土山ー石切削神社

日本三霊山の立山大汝峰と白山御前峰の正確な方位先は宇佐神宮奥宮御許山に正確に至る。宇佐神宮と国東半島岡山の方位先に平城宮があり、法隆寺夢殿は宇佐神宮下宮に富士山の方位にある。東大寺大仏殿の開基や聖武天皇の宇佐神宮の関わりに平城宮との方位関係があるだろう。

御許山ー白山御前峰（白山奥社）ー立山大汝峰

宇佐神宮下宮ー法隆寺夢殿夢夢殿ー富士山下宮

宇佐神宮本宮上上の二宮と安土山の方位上に平城宮大極殿跡があり、玉環山と大和山の方位先に二宮跡がある。

③ 四天王寺と物部三社、安土山

最初の安土山四天王寺金堂は、物部神社本殿と石上神宮根本殿の方位上、富士山剣ヶ峰と石切削神社根本殿方位上の方向に厳密に建つ。物部、石上、石切の三社は物部氏所領の高社格社で、四天王寺は『日本書紀』に物部氏と蘇我氏の戦いに、聖德太子が戦勝祈願に四天王を祈り成就後に四天王寺を建立したとある。安土山は、立山大汝峰と安土山の先に石切削神社本殿、物部神社と同線度、大和神社と石上神宮の方位先にあり、物部三社の共通の位置性が安土山にあり。

④ 安土山との方位上に平等院鳳凰堂

安土山と四天王寺講堂の方位上に平等院鳳凰堂がある。安土山と四天王寺講堂の方位上に平等院鳳凰堂がある。
⑤ 白山二社、法隆寺と唐招提寺と金剛山
白山を神山とする二社があり、現法隆寺堂は白山
仏像を奉斎し、両社の方位上、天宮と平城宮大極殿の
方位上は白山に至る。法隆寺堂と安土山の方位上は
自山中居神社に至る。

白山-白山中居神社（伊勢神宮内宮）-大鳥神社-夢殿-鹿島神宮

鹿島神宮は大鳥神社と夢殿を経て、白山から入る
鹿島神宮本宮と江戸城に富士山の先に亀山神社、亀山
神社と日光東照宮の方位上に名古屋城天守閣、亀山神社と
鹿島神社の方位上に水戸城三階櫓、水戸城三階櫓と松平東照
宮の方位上に国府神社が座落し、同地域の日光神宮と鹿島神
宮の方位上に江戸城天守閣がある。亀山神社と伊勢神社
方位上に和歌山城天守閣があり、鹿島と江戸城と富
士山の方位上に熊野の社殿、和歌山と日光の方位上に
瑞田の尾張藩があり鹿島の常宮に水戸藩がある。日光東
照宮家康と次男秀康藩井川城天守閣の方位上、東海道
神社と茶山茶社の方位上に秀吉の子孫松本家
城天守閣がある。小牧山は鹿島神宮奥宮と愛宕山の方位
上、愛宕山と富士山白山岳の方位上に名古屋城天守閣
がある。徳川家は飛地の金華山を尾張領とし小牧山と共に
愛宕山と安土寺の寺領を賜わたった歴史がある。

⑥ 安土山と豊山と名神社
安土山が神社鎮座関係の要地を示す三重関係と重要名
社に位置性と価値を相互に与える東京関係がある。

金華山-金華山-太陽神社-大鳥神社

運河-大鳥神社-夢殿-夢殿

二重階-夢殿-大鳥神社-夢殿

江戸城天守閣は鹿島神宮と浅間神社の方位上、香
取神宮と三河松平東照宮の方位上、浅間神社と松
平東照宮の方位上で徳川大坂城天守閣が正確に築く。